

第2回行政改革推進委員会 会議要約

- 日 時 平成27年9月7日(月) 午後1時58分～午後3時58分
- 会 場 村上市役所 5階 第4会議室
- 出席者 行政改革推進委員会委員 10名
人事管理室 3名

(午後1:58開会)

1 開 会

2 会長挨拶

会長

皆様、ご苦勞様でございます。大変お忙しい中、また天候不順ではありますが、本日は委員の皆様全員出席ということで大変喜んでおります。本日は市議会が開催中でありまして、事務局3名の出席であります。

第1回委員会にて配布された計画変更案について、確認されていると思います。今回の協議の結果が、答申(案)になりますので、皆様から忌憚のないご意見をよろしくお願いします。

3 協議

(1) 村上市行政改革大綱後期実施計画の計画変更案に対する意見について

「第1回委員会における意見【資料No.1】」を事務局が説明。

会長

案件ごとに意見をいただいていると時間がかかりすぎますので、ページごと若しくは関連事項ごとに進めたいと思いますがいかがでしょうか。

委員

はじめに項目に対する意見を出しをして、その後に全体に対する意見を出す形でいいでしょうか。

会長

そのようにしたいと思います。

委員

整理番号84について、集落集会施設の移譲については引き続き相手の理解を得ながら取り組んでもらいたい。

委員

整理番号38について、引き続き取り組んでもらいたいと思います。

整理番号78-9について、現在は市で管理し個人に貸出しており、今後、指定管理者制度に移行を

検討とのことで、それも良いことだとは思いますが、まちづくり協議会や地域の人たちが活躍できるような、例えば、自分たちで作ったものを販売できるスペースを設けるなど、まちづくり協議会に投げかけるのもひとつの方法だと思います。

整理番号78-10、78-11、85-1について市が管理しているとお聞きしましたが、指定管理者制度を導入して成り立っていくのか、また施設がなくなると不便になるのではないかと、今までの取り組みを大切にしながら、ニーズに合った方針を市の方で示すのも大切だと思います。

委員

整理番号38について、「水源選定に時間を要しているため、取組年次を1年程度先送りする。」とありますが、何に時間を要しているのでしょうか。平成25年度から調査が始まっているわけであり、水源も荒川と三面川のどちらにするかということではなぜ時間がかかるのでしょうか。

事務局

水源選定に時間がかかっているとは聞いていますが、具体的な内容までは承知しておりません。

委員

2～3年検討しているわけですが、未だに水源選定をしているというのは時間がかかり過ぎだと思う。やること自体は良いことだと思うので、早く取り組んでもらいたいと思います。

委員

整理番号38について、荒川と三面川のどちらにするかで迷っている。水質を考えたり、硬度・軟度を考えて、どちらをどうアピールしていくかを考えて、どちらが良いのか、どっちもできるのか、検討しているわけでもなく、「今年度末までには地区選定の方法を検討したい。」と回りくどい言い方をしているが、いつになるのかという感じがする。平成25年度から調査をしてまだ決まらないのか、水の需要はあると思うので早く取り組んでもらいたい。

会長

取り組みの状況をみると、あまり活動はしていないのではないかとと思われる。役所の人はビジネス感覚が疎いところがある。厳しい言い方をして申し訳ないが、即アクションを起こしてほしい。

委員

整理番号78-10、85-1の畜産農家の関係ですが、畜産基地、堆肥舎の土地は借地ですか。借地料は支払っていますか。

事務局

両方借地で借地料は市が負担しています。

委員

堆肥舎については、利用が少ないようであれば有機リサイクルセンターを利用させるとか、利用者に堆肥舎を移譲するとか考えなければならない。畜産基地も同じように利用が少ないのであれば地主に返すことも考えなければならないし、畜産関係者が必要なのであればやり方を検討する必要はあると思う。

委員

洋上風力発電について、人口が減少する中で、出来た電気を東京に送るのではなく、蓄電して地元住民の電気代が安くなるようなメリットがあれば転入者も増え空き家対策にも繋がるので、モデル地域として取り組んでみてはどうか。聖籠町のように保育料が安いから若いときだけ住むのではなく、ずっと住み続けて人口減少対策にも繋がると思います。

会長

おっしゃるとおり、前回の会議でも人口減少対策について、減ることに対する対処療法でなく増やすことを考えてほしい。非常に貴重な意見です、全体の中で考えていきたいと思います。

委員

整理番号94についてですが、目標値に市のホームページへのアクセス数とありますが、アクセスすることによって市に何か利益はあるのか、見てくれたというだけのカウントなのか。整理番号35の調査報告書のPRなどホームページにアップされているようで、以前よりホームページは良くなっていると思いますが、何のために目標値をアクセス数としているのか、あまり意味がないような気がします。

事務局

このアクセス数は、どれだけ市のホームページにアクセスしたかということであり、それによって収入があるわけではない。あくまでもどれだけ利用されているかということです。

委員

件数が増えたからといって、どうと言うことはないのでは。

事務局

魅力あるホームページを作成しようとしていますが、その目安としてアクセス数を目標に設定しました。

委員

例えば、企業広告の欄を設けて、広告収入を得るなど考えられないか。

事務局

数は少ないですが、現在実施しています。

委員

企業広告と観光を繋げて「企業見学が出来ます。」とか、いろいろな組み合わせを考えてはどうでしょうか。

委員

整理番号35ですが、調査報告書の売り上げが少ないようですが「必要な人は買いにきてください。」ではなく、作ったものを売り切る気持ちでやってもらいたい。

委員

山北と地域差があるように感じられ、一緒に考えられると条件が違うので統一は難しい。気になるのが下水道料金の負担。下水道があるところはよいが、我々のところは下水道がなく簡易浄化槽であり、

定額の維持費がかかる。一番問題なのが空家で、使っても使わなくても費用がかかる。使用する人数ではないので、たくさん使っても使わなくても同じだけ維持費がかかり、お盆だけ使う場合でも1年間維持費がかかる。市から補助金がもらえるが、それだけで下水道がある地域とない地域ですごく負担が違ってくる。下水道に繋がらないのではなく、下水道を作ってもらえなかった地域をこれからどうしていくかを考えてもらいたい。行政サービスも特にサービスしなければいけない地域とそうでない地域がある。特に過疎が進んでいて「まちづくり協議会で何かやりなさい。」と言われていています。景観条例の指定地域になっているが、高齢で住宅改修など誰もしない。その辺の現状を把握してもらいたい。地域差を考えて、公平になるよう、負担が同じになるように考えてほしい。

広報に関してですが、高齢化により、ホームページはほとんど見ない、市報も高齢のため見ない人も増えており、あれだけの費用をかけてば撒くだけで経費の無駄使いに感じられる。もっと必要な人にピンポイントでお知らせする方法はないのかと思う。

職員を集めればよいのではなく、この地域でこういうことが必要なので、こういう職員を集めるようなことを組織としても考えてほしい。

会長

村上市は広大な地域で山北から荒川までそれぞれ違いがあると思います。地形も違うので下水道も施工方法が違うわけで、一概に均等の金額となると公平にならないことも否めない。上下水道料金統一のときも問題となり、地域間格差ということで結論に至らなかった経緯があり、それがそのままになっているので、これからいかにその地域の人に受け入れられるものにしていくかということだと思う。これは非常に大事なことです。

委員

整理番号17ですが、継続が必要だと思います。また、市OB、県OB、金融機関OBの方々にも協力してもらい収納率の向上を図ってほしいと思います。

整理番号37ですが、少子高齢化、格差社会が進めば進むほど12期払いが必要と考えます。コストがかかることもありますが、先駆地の現状を見ながら早めに導入できればと思います。

整理番号38の水道水ボトルウォーターですが、名水100選に選ばれたものもありますので、地区の活性化につながる名水を生かした取り組みを行ってはどうかと思います。特に、大毎の吉祥清水は年間2万人から2万5千人来ているそうであります。大勢の人が利用しているわけですので観光協会と一体となって取り組むことが望ましいと思う。行政が加わればペットボトルの販売コストも安くなると思われるので検討していただきたい。

今年の農業予算の中で中山間地の直接支払い交付金と農地水の交付金がありますが、中山間地域の交付金は全てが国の交付金であります。今年第4次に入ったということでありますが、この交付金の中身について詳しいことはわかりませんが、交付金の基準の考え方が統一されたのか、あるいは変更になったのか、今までと同じ面積で金額が大幅に少なくなるという聞き取りました。それについては一団地ごとに、急傾斜、緩傾斜により支払いをしていたわけですが、同じ団地の中でも1本の水路があったり道路があったりすると、そこまでのエリアの中で急傾斜なのか緩傾斜なのか判断する支払基準だということです。

国県の補助でありますし、個人のお金や集落の予算にもなります。地域の活性化に貢献しているので改悪せずによく払えるように調整していただきたい。中山間地域では農業の振興が全体的な地域の維持・保持にもつながる重要なことですから農業予算の拡充をお願いしたい。

全体的なところで、単年度の評価でなく、今後予算が厳しくなってサービスが低下するといった懸念があるわけですから、出来れば3年後、5年後の収支のシミュレーションをして交付税、交付金がこれだけ減って、人口も減って、これだけのしわ寄せが来るので、行政サービスについてここまでは協力し

てほしいという情報発信をしていくほうが皆さんの理解を得られるのではないかと、今決めて来年から実施しますというのでは市民も構えてしまって反対も起きてきますから、中長期的な目線で市民の皆さんに訴えていくというのも大切なのではないのでしょうか。

会長

シミュレーションをきちんとして計画どおりに進んでいるか市民にわかりやすく開示してもらうことが大事です。どの案件を見ても手付かず、放置しがちなところがありますので、その辺が行革の大切なところでもありますので、今日の会議を踏まえて答申に全体意見として言っていかなければならないと思います。

委員

中山間の関係ですが、場所によって違い、急傾斜と超急傾斜に区分が分かれて、一番困難な地域は金額的に増えました。減ったというのは、その中で比較的なだらかなところがあることによるものと思います。

委員

急傾斜のところは緩傾斜になり、3次から4次に移行するときに皆さんに5年間のアンケートをとったら20ha減り、それだけの農地が管理できなくなるということになりますのでよろしくお願ひしたいと思います。

委員

整理番号32については、公有財産について廃校になったところを市がずっと管理すると思うと非常に危機感がありますので、早めに処分する必要があると思います。山間部にあるような学校は、売却が困難であり、再利用等できるような方針・基準の策定を急いでいただきたいと思います。

整理番号25については、消費税の関係で平成29年度までそのままということだが、関川村、栗島浦村と定住自立圏の協定を結んでいますので、関川村等の関係により料金も変わってくると思うので早めに協議しながら進めてもらえればと感じました。

行政の一番悪いところは、お金を稼ぐという取り組みが悪く、ペットボトルウォーターやネーミングライツの導入など、自主財源の確保の取り組みが遅いので改善していただければと思います。

会長

財源をきちんと確保し、人口が減ることを嘆いているだけでなく増やすことを考え、お金を節約するだけでなく外部からのお金を稼ぐことが必要だと、皆さんの意見から感じ取れます。

整理番号30のネーミングライツの導入は、公共施設で果たしてそれに値する施設があるのかということから考えなければならぬと思います。ネーミングライツを導入しようとするれば出来ないことはない施設もありますが、それだけの企業が果たして来てくれるか疑問を感じます。前回に、荒川の企業がハードオフエコスタジアムに広告を出していることを話しましたが、ネーミングライツという大きなものを取り入れるのではなく、施設内に広告を出すような取組みをしてはどうかと思います。

これから地方交付税が減らされますので、先程意見のありましたとおりシミュレーションして対策を講じることを早く始めないといけません。こういうことをしないと民間だったら間違いなく倒産します。総合的な意見からしてこういう意見が出ていますのでよろしくお願ひします。

委員

会長がおっしゃったネーミングライツ、新潟県ではデンカビッグスワン、ハードオフエコスタジアムなど、「それに匹敵する施設が村上市にあるか、それだけ人が集まる施設があるか」と考えたときにちょっと難しいなど、そして資料をみると「調査を行っていない。」ということだが、あまりにも大きいプランなので出来ないということなら、この計画をカットして別のところに力を注いだほうが良いのではと感じました。

会長

ネーミングライツという大きなものにすると難しくなるが、公共施設に事業主の看板を掲げるようなことはいくらかでも可能になると思います。それで年間の広告料が入るし、事業主も自分の看板が載ることになる。ネーミングライツは施設の名前が変わる場合があるので、せっかく馴染んだ名前が変わったりするのでその辺は慎重に考えなければならない。実現不可能なものを計画に入れたのであれば、そんな大げさなことをしないで広告収入を得るなど、目的は財源を得たいということだと思う。

事務局

ネーミングライツの関係は、委員おっしゃるとおり、提案としては良いのですが、実際に村上市にそのような施設があるのかと考えたときに、現実的には難しいと考えています。会長おっしゃるとおり、看板で収入を得る方法もあると思いますので、整理番号28の新規広告媒体への広告掲載というところで公共施設の看板等も検討中で、市役所の玄関に広告収入により案内板を設置しようということで準備を進めているところです。体育施設への広告掲載についても、この中であわせて検討していくということでいかがでしょうか。

会長

ネーミングライツという言葉は削除して、広告収入を得るといっほうが入り込みやすいと考えます。

委員

整理番号30については「調査を行っていない。」ということは何もやっていないという状況です。

会長

行政に全てやってくださいというのも難しいことなので、まちづくり協議会など、そういう人たちも真剣に考えています。そういう人たちの力も借り、委員会みたいな組織を作ることも大事かと思っています。

委員

私の集落に企業が来て、山のほうに看板を立て、社員が植樹し、年間料金をいただいて交流をしています。

また、棚田の保全ということで看板を設置して、年4回、田植えから稲刈りをしていただきながら交流を図っています。

こういう方法もあるので、もう少し頭を使って企業と接点を持ついろいろな方法があると思います。

委員

人形様めぐりのときに、雛人形会社の看板を出したらどうでしょう。今のお雛様を展示するスペースを作って参加しませんかと働きかけてはどうでしょうか。

委員

企業との接点は大切だと思います。村上市の企業といえば、工業団地の方々ですが、中条へ行ってしまいう企業もありますし、10年後ここにいないのではないかという危機感があります。例えば、村上市で下水道の整備をすとか、税金を免除する等、目に見える企業へのメリットを示して、ネーミングライツや企業広告など企業のほうも協力することが出て来ると思います。

ふれあいセンターなどで、瀬波温泉が満杯になるくらい盛り上がるような有名人を呼んで、村上市でこういうことをやっていくんだということを表に出していけば、ネーミングライツや看板を出したいということにもつながるので、イベントで盛り上げていくのも良いのではないかと思います。

会長

畜産の施設については、より使いやすい形で提供すとか、村上牛はブランドなので更に売り込んでいくとか目的をしっかり持って、前向きに考えてほしい。あらゆる方向から考え方がるので、その辺はぜひ入れてほしい。

委員

整理番号17の徴収機構の活用とは具体的にどういうことなのでしょうか。

事務局

県で設置している機関で、新発田の地域振興局にあります。村上市や胎内市、各市から職員が出向しています。広域的なケースを扱ったり、県税と合わせて徴収することで効率が良くなります。

委員

市の職員が減らされる中で収納員を養成していく予定はあるのでしょうか。人事異動があるとまた一から研修することになります。

少しでも収納率を上げる工面をしておく必要があると思います。

委員

金融機関のOBなどに収納員をお願いしていますか。

事務局

整理番号18で収納推進員の活用ということで、現在4人体制で収納確保にあたっています。

委員

全体意見として、市の職員の財政難に対する危機意識が低いと感じました。努力してうまく行っている事業もありますが、計画どおりに行かないので見直すということではなく、原因がどこにあるのかつきとめていない気がします。後期実施計画は来年度で終了ですが、民間では計画どおりに行かない場合は最悪倒産ということもありますので、市は危機意識が薄いと感じますし、市全体で改善して、行革本部会議で評価をしてもらえたらと思います。

4 その他

(なし)

5 次回の日程について

日 時：平成27年10月8日（木）午後3：30 ～

会長代行

8月31日の新潟日報に「私のここが好き」というテーマで高校生が地元集落が大好きという投稿があり大変うれしく思いました。村上市の子どもたちが地元を好きになるような取り組みが必要なのではないかと感じました。そういうことが人口減少対策にも繋がると思います。行革では財政的に厳しいところもあるでしょうが、出すところは出す、削れるところは削るということで取り組んで行く必要があるのかなと感じました。3回目の会議で答申ということになりますが、皆さんの慎重審議で良い答申が出来ると思いますので次の機会にぜひ出席してください。

本日は大変ありがとうございました。

7 閉 会

(午後3：58 閉会)

以上、第2回行政改革推進委員会会議要約の内容が、正確であることを証明するため、ここに署名する。

平成27年10月5日

会 長 松本 豊 印